療法名 GnP

適応 膵癌

抗癌剤適応分類 進行・再発癌

第3版	2025年1月改訂
登録番号	膵癌－3
登録年月日	2015年11月

投与順	抗癌剤名（一般名）	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	**アブラキサン®** （アルブミン懸濁型パクリタキセル）	nab-PTX	125mg/㎡	点滴静注	30分	d1、d8、d15
2	**ゲムシタビン** （ゲムシタビン塩酸塩）	GEM	1000mg/㎡	点滴静注	30分	d1、d8、d15

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
nab-PTX	125mg/㎡	↓							↓							↓																
GEM	1000mg/㎡	↓							↓							↓																

1コース期間 （次のコースまでの標準期間）	4週(nab-PTX＋GEM:day1、8、15投与)
総コース数	浮腫・末梢神経障害強くなければPDまで
コース間での休薬規定	チェックリスト参照

減量規定・中止基準	チェックリスト参照
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	1日間短縮可
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	nab-PTX→GEM
プレメディケーション	投与当日デキサメタゾン注9.9mg＋パロノセトロン注0.75mg点滴静注 (レジメン別催吐性リスク:中等度)
ポストメディケーション	ルーチンではなし

主な副作用とその対策	チェックリスト参照
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	チェックリスト参照
実施上の注意点	胸部放射線照射:併用禁忌。腹部放射線照射:毒性増強、併用注意 照射後にGEMの投与を行う場合、少なくとも3カ月のインターバルをもうける
	GEMは60分以上かけて点滴静注すると副作用(骨髄抑制、肝機能障害)発現の頻度と程度が上昇するため、30分で点滴静注すること
	nab-PTXについて ①起壊死性薬剤のため、血管外漏出に注意する。 ②懸濁液には生理食塩水を使用する。(その他の薬剤と混合不可) ③アルブミン含有のためインラインフィルターは使用しない。 ④アルブミン含有のため血液製剤使用記録を20年間保存すること。 ⑤滴下速度安定のため、ポンプは使用しない。

備考	nab-PTXは1Vあたり生食20mLで溶解することが望ましいが、やむを得ない場合、1Vあたり100mLの生食で溶解可能(メーカー回答)。
治療成績	MPACT試験にてOSにおいてGEM単剤よりも優越性が証明された。PFS、奏効率においてGEM単剤よりも有意な改善効果を示した。国内PⅠ/Ⅱにおいても有効性および安全性においてMPACTと変わらぬ有用性を示した。
その他	MPACT試験、国内PⅠ/Ⅱにおいて

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版
大鵬薬品 試験安全性情報